

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016 年 3 月 25 日

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター 准教授
氏名 Name	今井 忍
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日本語の形態法に関する認知言語学的研究
<p>語種と意味の関係については、Štekauer (1998)で提唱された Onomasiological approach が有用であることが確認された。これは、複合語を名づけ機能の観点から分析するもので、従来の複合語に対する見方が要素どうしの関係という観点に専ら偏っていたのに対して、全く新しい視点を提供するものである。今井 (2015) でも指摘したように、漢語と複合語には意味的に一定の共通性が見られるため、このアプローチが漢語に対しても適用可能かどうかを今後考察することで語種に対する理解が深まると考えられる。</p> <p>Construction Grammar に基づくことわざ研究、および、日本語の数量形容詞については、基礎的データの収集と分類を行った。</p>	